泉大津市

決裁日令和2年 9月 9日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	~~次長 課長~~	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊		＊＊		

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊		＊＊		＊＊		

起票日	令和 2年 9月 9日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 2 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	18 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

金額	3,040 円	控除	所得税	0 円
支払回数	3 回		雇用保険料	0 円
負担行為額	574,086 円		その他	0 円
支出命令済額	7,725 円		控除額合計	0 円
負担行為残額	566,361 円	請求書番号		
源泉支払内容	**********			

タイムカード(出勤簿)確認	
源泉徴収確認	
被服貸与台帳記載確認	
通勤経路及び金額確認	

件名	研究研修費　10/5～10/6 令和2年度トップマネジメントセミナー研修費及び振込手数料
摘要	

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和2年 9月23日
	住所			
	名称	おづ代表者　貫野　幸治郎		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人		債権者番号	0 - 000004461 - 00

領収	住所		領収印
	氏名	おづ代表者 貫野 幸治郎	

上記の金額を領収しました。 令和2年 9月23日

支払済

令和　年　月　日

泉大津市 会計管理者　あて

支出負担行為確認

001

負担行為番号 02-002010

伝票番号 02-008217

呼出番号 00295515

整理番号 02-000011-03

02 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供覧	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

令和２年９月７日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名
代表者名　貫野幸治郎

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	３，０４０円		
内訳	令和２年10月５日（月）～10月６日（火） 令和２年度トップマネジメントセミナー 研修費及び振込手数料		
支払先	（公財）全国市町村研修財団　全国市町村国際文化研修所		
予算科目	研究研修費	交付残額	566,361円
使用者名	貫野　幸治郎		

供覧	議長	副議長	局長	次長	補佐	係長	係長	係員
	神谷	大塚	橋本					

全国研第 347 号
令和２年８月 25 日

泉大津市議会議長　様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長　藤 原 通 孝
滋賀県大津市唐崎二丁目13番[redacted]

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続き等について、よろしくお願いします。

氏名	貫野　幸治郎
コース名	令和２年度トップマネジメントセミナー
研修期間	令和２年10月５日（月）～ 10月６日（火）
受講形態	Ａ：２日間受講（宿泊）

1　研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1)　納入金額　：　4,600 円　〈内訳〉 研修費（@1,300）　2,600 円　＋振込手数料 440円
食費　2,000 円
=3040円

(2)　指定期間　：　令和２年９月24日（木）～　９月30日（水）

(3)　指定口座　：　[redacted]
名義人：[redacted]

注１）　振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注２）　貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

受付
第 241 号
-2.8.28
泉大津市議会
事務局

貫野議員にコピーお渡し済です。

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてごらんください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

[redacted]

お振込金額	¥4,600
振込手数料	¥440

お受取人は
[redacted]
ｻﾞｲ)ｾﾞﾝｺｸｼﾁｮｳｿﾝｹﾝｼｺｳｻﾞｲﾀﾞﾝ 様

お振込人は
ｲｽﾞﾐｵｵﾂｼｷﾞｶｲ ｶﾝﾉ ｺｳｼﾞﾛｳ 様

お取扱日 2. 9.24 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時刻
17677		2. 9.24	10:41
			2391

銀行番号	店番号	口座番号等

印紙税申告納付につき麹町税務署承認済

三井住友銀行

泉大津市

決裁日令和2年9月9日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	~~次長課長~~	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊		＊＊		

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊		＊＊		＊＊		

起票日	令和 2年 9月 9日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 2 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	18 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

金額	3,100 円	控除	所得税	0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	4 回		雇用保険料	0円	源泉徴収確認
負担行為額	574,086 円		その他	0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	10,825 円		控除額合計	0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	563,261 円	請求書番号			
源泉支払内容	**********				

件名	旅費 10/5～10/6 令和2年度トップマネジメントセミナー 参加
摘要	

債権者等				
支払方法	21 現金払	支払希望日	令和２年 ９月２３日	
住所				
名称	おづ代表者 貫野 幸治郎			
役職等/氏名				
銀行/口座				
口座名義人		債権者番号	0 - 000004461 - 00	

領収			
住所		領収印	
氏名	おづ代表者 貫野 幸治郎		

上記の金額を領収しました。 令和２年 ９月２３日

令和 年 月 日

泉大津市 会計管理者 あて

支払済

支出負担行為確認

001

負担行為番号 02-002010

伝票番号 02-008231

呼出番号 00295520

整理番号 02-000011-04

02 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供覧	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

令和２年９月７日

泉大津市長
南　出　賢　一　様
（泉大津市議会議長経由）

会派名　おづ
代表者名　貫野幸治郎

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	３，１００円		
内訳	令和２年10月５日（月）～10月６日（火） 令和２年度トップマネジメントセミナー 参加		
支払先	貫野　幸治郎		
予算科目	旅費	交付残額	563,261円
使用者名	貫野　幸治郎		

令和2年度

出 張 申 請 書

（出 張）

会派名	おづ	氏名	貫野 幸治郎
出発・帰庁年月日	出発 令和2年10月5日	帰庁 令和2年10月6日	

出張先（順路）
全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

目的及び用件
令和2年度トップマネジメントセミナー
～危機を乗り越え新しい時代へ～ 参加

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ┐ 66.8	1,170						1,170
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5 ┘							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,550						1,550
｜（　　線）							計	3,100
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

主管課用

令和2年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	おづ	氏名	貫野　幸治郎
出発・帰庁年月日	出発　令和2年10月5日	帰庁　令和2年10月6日	

出張先（順路）
全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

目的及び用件
令和2年度トップマネジメントセミナー
～危機を乗り越え新しい時代へ～　参加

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
新今宮		380						380
〃								
｜（JR大阪環状線）								
大阪	10.0							
〃								
｜（JR東海道本線）								
山科	48.3 ｜ 66.8	1,170						1,170
〃								
｜（JR湖西線）								
唐崎	8.5							
〃								
｜（　　線）								
復路		1,550						1,550
｜（　　線）							計	3,100
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								
｜（　　線）								

宿泊料：別途、負担金として納入
日　当：滋賀県のため支給なし

右の金額領収いたしました。

金額			¥	千	3	1	0	0	円

令和　　年　　月　　日

職名　おづ

泉大津市会計管理者　殿

氏名　貫野　幸治郎　印

□決　裁　　■供　覧

受発記号・番号		収受年月日	令和2年10月13日
差出名	おづ　貫野　幸治郎		
あて名	泉大津市議会議長	提出期限	
収受文書の記号		収受文書の日付	令和2年10月13日
件名	報告書		

議長	副議長	事務局長	次長	合議				
主管 次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員					

処理上の意見及び注意事項

日　時：令和２年１０月５日（月）～令和２年１０月６日（火）

出張先：全国市町村国際文化研修所

目　的：令和２年度トップマネジメントセミナーに参加

会派代表

報　告　書

令和 2 年 10 月 13 日

泉大津市議会議長　様

（会派名）　おづ

出張者氏名　貫野幸治郎

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1.日　時　令和 2 年 10 月 5 日（月）～ 10 月 6 日（火）

2.出張先　滋賀県大津市唐崎2丁目13-1　全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）

3.目　的　令和2年度 トップマネジメントセミナー（危機を乗り越える新しい時代へ）出席の為

4.報告事項

○出席人数　関東地方（群馬県等）から南下して九州地方迄のエリア市町議員　111名

○セミナー時間割　＝別添資料①

○セミナー講師（略歴）＝別添資料②

○受講証明書　＝別添資料③

○所感（私の雑記）＝別紙No1～No.5迄

以上

資料①

令和２年度「トップマネジメントセミナー」～危機を乗り越え新しい時代へ～

（敬称略）

月日	曜日		1時限 （9：25-10：35）	2時限 （10：50-12：00）	3時限 （13：00-14：10）	4時限 （14：25-15：35）	5時限 （15：50-17：00）	課外 （17：00-）
10/5	月			11:00-12:00 受付 11:00- 昼食 13:00- 開講式 日程説明	【講義】 (13:15-14:45) 東日本大震災から学んだこと ―想定外は起きる 復興庁顧問（元事務次官） 岡本 全勝 講堂	【講義】 (15:05-16:35) デジタルが社会・産業・経済 ・地方を変える 東京大学大学院工学系研究科 教授　森川 博之 講堂		16:35- 入寮オリエンテーション
10/6	火		【講義】 (9:00-10:30) 大災害は市役所の 実力テスト 岡山県総社市 市長　片岡 聡一 講堂	【講義】 (10:50-12:20) 逆境に負けない 強い組織の在り方 ～withコロナafterコロナの 時代に向けて～ 株式会社minitts 代表取締役 （佰食屋オーナー）中村 朱美 講堂	12:20-12:30 閉講・事務連絡			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

令和2年10月5日現在

名札の色：白色、研修担当：陸川、貫山

資料②

令和２年度「トップマネジメントセミナー」
講　師　紹　介

◆復興庁顧問（元事務次官）　岡本　全勝 氏

1955年奈良県明日香村生まれ。1978年東京大学法学部卒業後、旧自治省に入省。鹿児島県財政課長、富山県総務部長、総務省交付税課長、内閣総理大臣秘書官、自治大学校長を務め、2011年には東日本大震災被災者生活支援本部事務局次長を務めた。復興庁統括官、復興庁事務次官、復興庁福島復興再生総局事務局長を経て今年9月より現職。著書に『新地方自治入門』（時事通信社）、『東日本大震災　復興が日本を変える－行政・企業・ＮＰＯの未来のかたち』（ぎょうせい）、『明るい公務員講座』（時事通信社）等がある。

◆東京大学大学院工学系研究科 教授　森川　博之 氏

1987年東京大学工学部卒業。1992年同大学院博士課程修了。博士（工学）。2006年東京大学大学院教授。2002～2007年NICTモバイルネットワークグループリーダーを兼務。モノのインターネット／M2M／ビッグデータ、センサネットワーク、無線通信システム、情報社会デザインなどの研究に従事する。電子情報通信学会論文賞（3回）、情報処理学会論文賞、情報通信学会論文賞、ドコモモバイルサイエンス賞、総務大臣表彰、志田林三郎賞、情報通信功績賞などを受賞。OECDデジタル経済政策委員会(CDEP)副議長、新世代IoT/M2Mコンソーシアム会長、総務省情報通信審議会部会長等を務める。著書に『データ・ドリブン・エコノミー』（ダイヤモンド社）、『5G　次世代移動通信規格の可能性』（岩波新書）等がある。

◆岡山県総社市 市長　片岡　聡一 氏

1959年岡山県総社市生まれ。1984年青山学院大学法学部卒業。1996年内閣総理大臣公設第一秘書に就任し、2000年内閣府行政改革・沖縄北方担当大臣秘書官に就任。2007年総社市長に当選し現在4期目。2017年9月全国に先駆け「総社市大規模災害被災者の受入れに関する条例」を制定し、新たな災害支援の形を構築している。倉敷芸術科学大学客員教授、全国市長会 経済委員長、全国空き家対策推進協議会 会長、中小企業政策審議会委員、岡山県市長会 会長等も務めた。

◆株式会社minitts 代表取締役（佰食屋　オーナー）　中村　朱美 氏

1984年京都府亀岡市生まれ。専門学校の職員として勤務後、2012年9月に飲食事業や不動産事業を行う「株式会社minitts」を設立。1日100食限定をコンセプトに、美味しいものを手軽な値段で食べられるお店「佰食屋」を開業し、行列のできる人気店へ成長させる。テレビや雑誌などのメディアで多数紹介される。ランチ営業のみ、完売次第営業終了という飲食店の常識を覆す経営手法で、飲食店でのワークライフバランスとフードロスゼロを実現し、日経WOMAN ウーマンオブザイヤー2019大賞等数々の賞を受賞。著書『売上げを、減らそう。』（ライツ社）は、読者の投票により選ばれるビジネス書グランプリ イノベーション部門の1位を受賞。

資料③

受講証明書

団　体　名　：　大阪府　泉大津市

所属・氏名　：　泉大津市議会　議員　貫野 幸治郎

研　修　名：令和２年度トップマネジメントセミナー

期　　間：令和2年10月5日（月）　～　10月6日（火）

上記の研修を受講したことを証明します。

令和2年10月6日

全国市町村国際文化研修所
学　長　　藤　原　通　孝

所感

No 1

① 東日本大震災から学んだ事 ―想定外は起きる。　　岡本全勝

大津波（地震後の）原発過酷事故と同時進行的に大災害におそわれる。高級官僚（行政マン）としての講師の経歴から、国として、どの様に対応し、処理し、復興への道筋をつけるかこの点の話が中心であり（当人がたずさわる）それ故、大震災対応への内幕的な話となってしまう。「●今回の災害に対してどの様に対応していくのか？ ●大震災対応から学んだ様々な問題点の行政処理具現化の為のマニアル」この点の話をもう少し聞きたかった。

大震災対応の内幕的な話からは何を？我々が学ぶのか。そうでなくて今回の対応に結びつけた話にして欲しかった。話の流れは――

◎ Ⅰ 想定外が起きた＝試された日本国政府 ① 2つの大災害。天災と事故 (イ)津波に一度の大津波。●町が流された＝暮らしが成り立たない。●役場が流された＝住民支援の機能喪失 (ロ)初めて経験する原発過酷事故。●わからない事故の状況 わからない国民への危険。●全住民避難の所料。遠く全国へ避難 ② 暗闇の対応＝前例がないことをする (イ)講師が言ったこと＝被災者生活支援チーム（緊急災害対策本部）立ち上げ。●「何をしなければならないか」がわからない。被害の全容がわからない。さまざまな情報、さまざまな要請。講師が考えた事。何がするか。何ができるか。誰を動かすか。(ロ)前例はない。●これまでにない施策＝前例のない災害＝「前例がありません」「該当に書いてありません」「予算はありません」は、前例のない災害に対して通用しない考え方。●復興庁をつくり運営する＝官僚組織に答える。

「前例通り」「できません」「検討します」「縦割り」と打破

Ⅱ. 「国土の復旧」から「生活の再建」へ＝政策拡大と哲学変更 ① 復興とは何か (イ)失われたものは何か＝流された町で見たこと。インフラ復旧だけでは戻らない。にぎわいと暮らし。

●モノ＝インフラと住宅。●機能＝各種サービス産業。●つながり＝コミュニティ、つきあい。② 3つの分野 3つの主体 進め方 ●インフラと住宅＝行政。●各種サービス産業＝行政、民間企業。●コミュニティつきあい＝町内会、N.P.O、中間団体

Ⅲ. 原発被災地の復興 発災から9年半 ① 天災と事故との違い (イ)国は加害者 (ロ)事故はまだ終わっていない。放射性物質減衰に時間がかかる ② 2つ (イ)帰還困難区域を除き避難指示解除済み。(ロ)復興に濃淡。●住民の戻り。解除の早い地域は8割、遅い地域は1割。避難先で新しい生活を始めた人。住民意向調査。●避難指示解除区域 インフラなどは復旧済み。戻ってこない、にぎわいの回復

• 帰還困難区域、想定以上の放射線量の低下（自然減衰と除染の効果）または復興拠点を整備、又放射線量が高い地域の方策 ③ これから (イ) 続く作業 • 中間貯蔵施設、運び出すはあと2年、2年以内の県外運び出し。• 廃炉 汚染水作業 ※定 その年内とか？
(ロ) 難しい政策、見聞の「英知」はない。

IV. 自治体の危機管理 ① 自治体現場で起きる危機 (イ) 2つの危機 その1 • 内と外、地域で災害と事故、組織内で不祥事、双方にまたがる危機 新型コロナウイルス以外。(ロ) 2つの危機 その2 • 想定内と想定外 前例があることとないこと。訓練と実践は違う。見直し、対応計画（マニュアル）の機能と限界機能。② [redacted]しなければならないこと。(イ) 情報収集。分かることと分からないこと。(ロ) 情報の配分 誰に何を伝えるか。(ハ) 課題の整理 何をしなければならないか。何ができるか。(ニ) 誰が何をするか。あなたがすること、部下がすること。(ホ) 全体を見る 次を想像する。③ どちらを向いて仕事をするか • 被害者と住民、• 上司と部下、組織内 • 国、市町村との関係 • マスコミと国民。
大体 今説明した順序であると思う。 以上

② デジタルが社会、産業、経済、地方を変える 森川博之

① に続く

私は [redacted] デジタル化という事に関し ① テクノロジーの部分で一歩引くところがあるが、この事に伴う社会、産業、経済、地方の変革については大変関心があり重要な事柄と認識している。その意味で云えば今日の話は大変おもしろく又有意義であったと感じている。今まさにターニングポイントに差しかかっている [redacted]。時代の流れに（浸透するデジタル化）ついていける様、私はこれに対応をしていこうと認識をあらたにした。話の流れは ——

[redacted] 本論に入る前にコロナ感染症が起こり世の中の流れが逆流している話から始めた。それは

グローバル → ローカル
市場 → 分配（公益）
都市集中 → 地域分散（一等地が変わる）
職能型 → 職場型
効率（just in time） → 冗長性（just in case）

この様な逆流

そして ① 配達ロボットの事 ② バーチャル動画を観てのこの [redacted] 自宅でのトレーニング（自粛生活）等がコロナ前とコロナ後では見方が変った事を [redacted] 感じ社会観、世界観の変化を説く。

No 4

社会観、世界観、人生観の変化を歴史的に話をすすめる。その変化の根本となった物を紹介して一

○蒸気機関から鉄道、そして、
- 世界観の変化（経済的な地理と心理的な地理を変える）
- 社会観の変化（商取の精神と技術者への評価）が新産業の創出につながる（郵便、新聞、投資銀行、商業銀行など）

○洗濯機、
- 家事労働を減らす、人生観念も変える。
- 毎日服を着替えるようになり、洗濯物が増え、衣類市場も増大した。

○黒死病（ペスト）
- 黒死病→人口減少→賃金上昇→技術革新→印刷術の発明
  （広告業、演劇、政治形態、医療、公衆衛生、高等教育への影響、他にも）
- 黒死病→人口減少→英語、母語話者の相対的合流→英語の浸透

等、変化を簡単に説明していく。そして最後に、デジタル革命（生産性向上と価値創出）とは、歴史である。
デジタル革命については、実体をどう捉えるかという映像で提示し、みなさんに理解を求める。
浸透するデジタルNWという事で、ネットの活用をみていくが、その内、日米が世界に残った。① 古紙回収（巷、スーパー、回収事業者の三方よし）② バス運行管理（川崎市のムーブバスの例）③ ワクチン（6秒毎を徹底し、エクセルの「実数」を必須メモリ＝働き方に対する意識改革）。

以上。

2日目の講師は現職の市長、企業経営者（代表取締役）であり、大災害からコロナを体験し、何を感じ、その様に対応し、その様に通勤おやつ[illegible]が、という実体験談であった。
それゆえ、リアルであり迫力があり、話に引き込まれるものである。その中で自分自身が何かをつかめればという想いをいだいた。それゆえ、私の感想のみを報告する。話の内容は記録しない。

迫力

③ 大災害は市役所の実力テスト

片岡聡一

○ 感想　話し手は市長であったという事もあるが実際体験し（7月豪雨）、その状況をリアルに説明、話していくので説得力があった。市のトップとしての決断（瞬時）、苦悩が十分に伝わってきた。その話の内容の中で、考えさせられる事がたくさんあった。
7/6 PM9:00 災害対策本部立ち上げ、翌7日未明の災害をトヨタメンバーシップで語る様子には「私の責任をもって市の首長として語り通していく」という語り部としての決意がみなぎっていた。

○記述した点

- 災害は高架下の決壊（最終的に堤防は決壊せず、ホッとした）と同時的にアルミニウム工場の爆発、火災発生
- 行政と住民の間の信頼関係の構築＝信頼関係が無いと行政の避難勧告には従わない。（人口7万人の内、役所の指図で避難した人8000人のみ）
- 市長はツイッターを平時使用していたが、災害時に於てのツイッターの効能を語る。「一人の高校生とのツイッターで災害直後、1000人規模の高校生が市役所へ集まる」その後毎日毎日、100人規模集まり、災害のあとかたづけ、復興に入っていく。（災害ボランティアの復興活動に参加）
- 議員と災害時、意思疎通＝生か死の時は、ルールは破れ、まず生き延びる事が大事。公平、平等は無い。勇気（郷愁）があれば少人数でも決断できる。決めつつ作る＝ヒヨルオオオンエーる間に成長が結婚は早く、待ったなしに。誰の為か？被災者の為にはどうか？議員（市長）の判断基準はこの点
- 復興（復興）＝推力の二重構造は少人。逆対。被災地の首長がリーダーシップを握る（市長が中心、支援に入った団体が、長的な動きとすると少人）。

○最後に　先に記述した高校生の復興活動の輪が中学校生、大学生にも広がり、そして市民も巻き込み、心が5人の絆となる。まさに、大事業となった訳である。この方々の活動の状況がビデオに収録されており、上映される。「みんなで繋がった復興への絆」というタイトル、少し感動した。

以上

④ 逆境に負けない強い組織の在り方　　中村朱美

～with コロナ after コロナの時代に向けて～

○感想　少し早口であったが中村さんの経営方針というか、事業に対する考え方が実に明快であり、決意すれば毅然と行動する姿には感服した。労使関係や労働時間に対しても従来型のポリシー、考え方がへきめたり、28歳の方が生み出した飲食「個食屋」を例として、「さぞかし苦労されているのだろうな」と感じた。若く創業して、軌道にのれば、即チェーン展開へと走る中で大きくする事が立派ではない。小さくとも、その例でも自身の考える事業のあり様が展開される事が大事だと考え続けているのだろうと私は理解した。素敵な職場作りが、従業員の要になろう。

○記述に関し
• 彼女の父親は料理人、飲食業界に対する想い（彼女の原点）ここからの脱皮

低賃金
長時間労働

大、日祝日も営業地は休みなく
子どもの行事に参加できない
当り前
朝から深夜まで通し勤務

人材的採用手不足

2月末で0人を選択し「従業員」を解雇、そして京都西院、京都河原町、京都錦市場、京都、四条大宮、と~~営業~~、4店舗とする。

• 1日100食限定、テイクアウト営業のみ。100食という「割切り」に重点をシフト。①ストレス環境改善化 ②顧客満足度が上がる ③早く帰れる（長時間労働の是正）。

• 完全歩合の社員教育　従業員個人と貴社の明確化、労働を方策される為の2つの取り組み
① 出勤、退勤時間は自分で選ぶ。有給は時間単位の指定もできる。
「自己決定権」で従業員が「この会社は私の会社」と感じる様になる。

• コロナの中を今のスタイルに変えよう！（生き残りをかけて）。① メニューを1つに絞る ② 米の調達先を確保。③ 従業員のスキルアップ ④ 日曜日の人員不足を解消。

※ 個人が方策を講じている。様子を見ず、現在、成功している様に思える。

○付記
• 20.9.7月　日韓関係悪化＝韓国人観光客激減
〃 10月　消費税増税
2020 1月　新型コロナウイルス感染拡大
〃 3/27　志村けんさん死亡（コロナに対する国民の流れ変る）→ コロナの中

• 京都河原町　京都錦市場店　2軒　昨年対比20%減
〃 西院　〃 四条大宮　2軒　〃　100%。 → 繁華街、住宅街

全員助かるか半分だけ助かるか？"決断"半分だけが助かる。

• (1) 2店舗閉鎖（河原町、錦市場店）＝早い時期であったので従業員池へ転職（増加）
(2) 夜帰りの人多、半年1つにメニューを絞る。そしてテイクアウト制度
通常営業、100食 → 従業員6人
テイクアウト、100食分 → 〃 3人

• 5/7 国産牛、100%、ハンバーグ販売開始。
↓
飲食店（60食分）の店内営業＋テイクアウト営業再開

以上